

橋原信二 しんじゅう 寫真家、實業家。明治十六年七月、二十五日東京橋
生れ、昭和二十二年十一月四日没（八八二一九四）。資生堂創業者福原
有信の二男。明治二十九年千葉醫學專門學校卒。四十一年アメリカ
留學し、藥學と寫真技術を學んで入止四年歸國。資生堂の経営（監督）、
翌年化粧品部を開設した。他、關係諸會社の社長・重役を兼任。十年雜
誌『寫真藝術』を創刊、十二年日本寫真會を興して會長就任。昭和十
四年國畫會寫真部創設同人。寫真家福原信辰の兄。

著書『旅の寫真撮影案内』（昭和十一年七月十日東京朝日新聞發行所）
『アサヒカメラ叢書』（一）、寫真集『武藏野風物』（編、昭和十八年一
月二十日大阪・靖文社）、隨筆『寫真を語る』（昭和十八年五月十五
日武藏書房）等。